



丘珠空港 地域ワークショップ[®]

令和6年7月

札幌市まちづくり政策局空港活用推進室





札幌丘珠空港について



丘珠空港（札幌飛行場）の概要



面積	総面積	国土交通省所管	防衛省所管
	102.2ha	12.6ha	89.6ha

駐車場台数
367台

栄町・空港間1.3km
都心から6.0km

就航路線・利用者数

路線数

道内

6路線

道外

6路線

便数

1日最大
50便

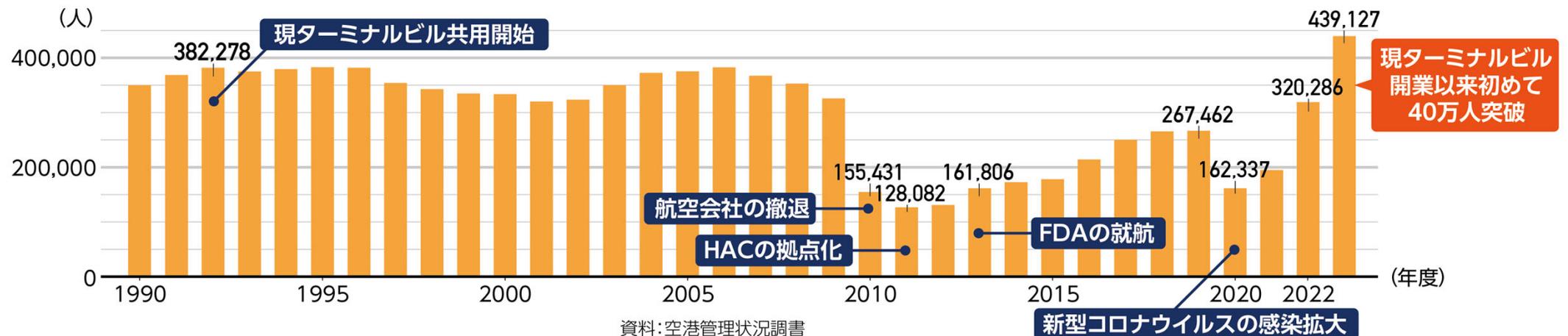
(令和6年夏季ダイヤ)

旅客数

約44万人

(令和5年度)

年間利用者の推移



丘珠空港の役割

1 拠点空港 (道内路線)

道内空港
ネットワークの
拠点空港

2 都市型空港 (道外路線)

道外とも路線を結ぶ
都市型空港

3 医療

道内医療を支える
空港

4 防災

防災機能を持つ空港

5 ビジネスジェット

ビジネスジェット機
利用に対応する空港

6 小型機

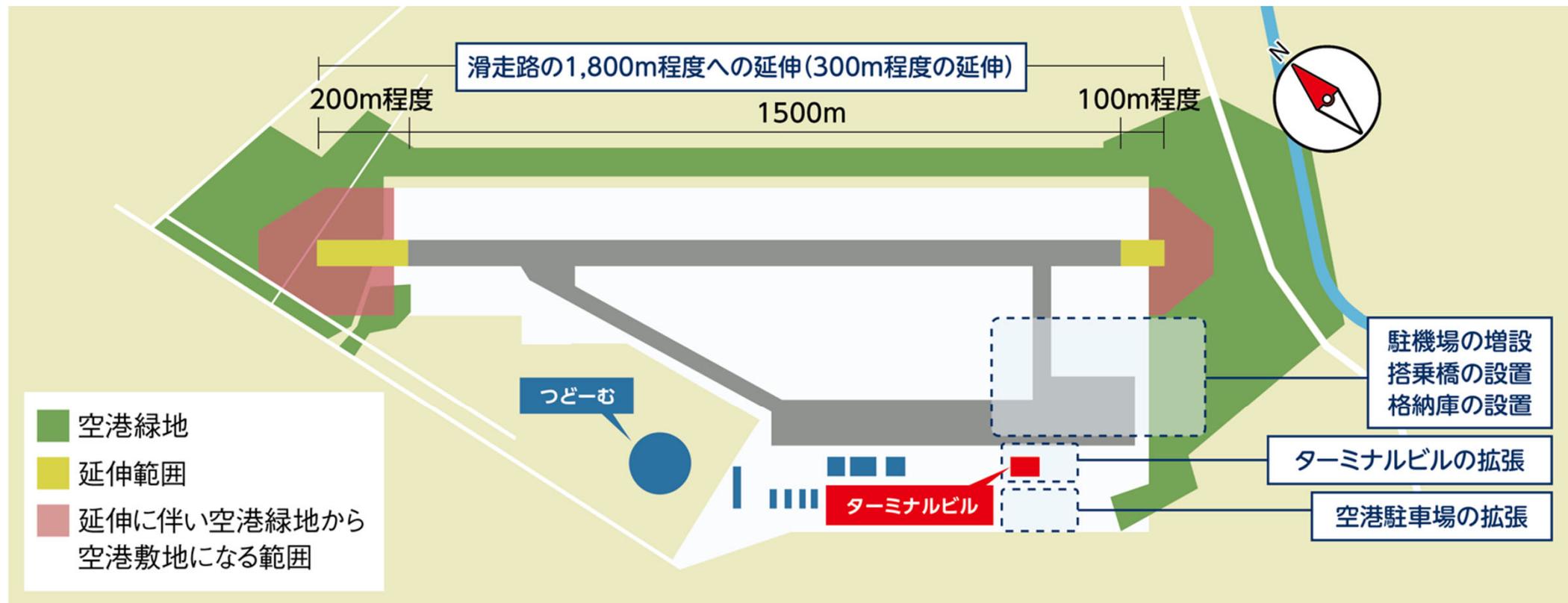
報道・測量等で利用する
小型航空基地空港

丘珠空港の将来像

一年を通して道内外との路線を展開することにより
市民・道民の安心な暮らしに寄与するとともに、
多様な交流を支える広域交通拠点となる空港

① 滑走路の延伸

現在は夏ダイヤのみ就航しているリージョナルジェット機が冬季も運航し、一年を通して安定した空港利用が可能となる滑走路長（1,800m程度）とするため、300m程度の滑走路の延伸を国に要望しています。



※このイメージは札幌市の想定であり、詳細な延伸方向及び延伸長は今後の国との協議の上で決定するものです。

② 空港運用時間の拡大

現状

7:30~20:30



将来

7:00~21:00

③ 路線の拡充

現状

道内 5 路線 夏季 30 ^{最大} 便/日

道外 3 路線 冬季 28 ^{最大} 便/日

年間旅客数 約 27 万人 (2019年)

※令和4年(2022年)4月現在

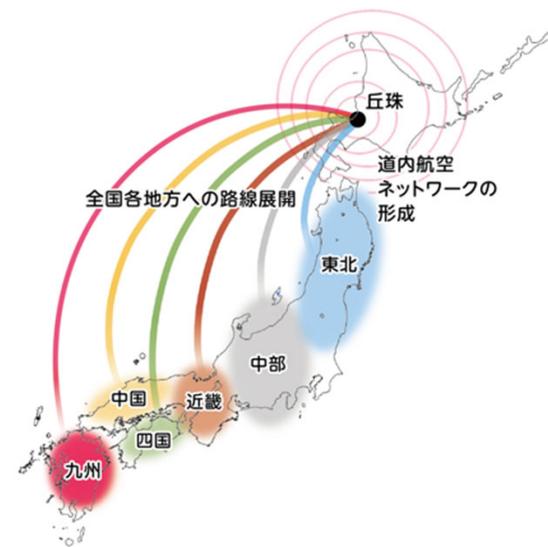
将来

(想定)

道内 6 路線 程度 通年 70 便

道外 10 路線 程度 程度/日

年間旅客数 約 100 万人 程度



④ ターミナル機能の強化

空港ターミナル
ビルの拡張

駐機場の増設

搭乗橋の設置

新たな事業者の
格納庫の設置

⑤ 空港ターミナルビル内 における商業施設等の拡充

航空旅客の利便性向上

航空機利用者以外の利用

安定した経営

⑥ 空港へのアクセスの充実

航空便の発着時間に対応したバス運行の確保

空港連絡バスの通年運行化

⑦ 医療・防災機能の強化

メディカルウイングの通年運用

札幌市消防航空隊の丘珠空港への拠点化

災害時の支援物資等の集積

※SCU：大震災等の災害時に、重篤患者の症状の安定化を図り搬送を実施するための航空機搬送拠点臨時医療施設。

⑧ 周辺地域との調和と共生

将来像の実現に向け、以下を空港と「周辺地域の共生に関する基本方針」とする。

環境への配慮

環境調査を行いながら、環境基準を超えない範囲内での運用となるよう取り組んでいく。



空港周辺の賑わいの創出

地域住民と協議しながら、空港周辺の賑わい創出等に取り組んでいく。



丘珠空港を核とした周辺まちづくりについて

市民意見の把握に関する取組

丘珠空港周辺地域連絡協議会

目的：丘珠空港の機能強化や空港周辺の賑わいの創出等に向け、周辺地域と札幌市が一堂に会し、空港と周辺地域との調和と共生に向けた情報共有及び意見交換を行うこと

開催状況：第1回 令和5年6月
第2回 令和6年1月
第3回 令和6年6月
参加者：空港周辺連合町内会関係者



地域アンケート

調査方法：丘珠空港周辺（9地区11連町）を対象に、無作為抽出した市民1,500名に郵送

実施期間：令和5年8月25日～9月15日

目的：空港ビルと空港緑地に関する地域の意向の把握

回答者数：474名（回収率31.6%）



地域ワークショップ

日程：令和5年10月14日（土）・15日（日）

テーマ：空港周辺の賑わい創出に向け、
空港ビル・空港緑地にあったら良い機能

内容：(1)趣旨説明
(2)現地見学
(3)グループディスカッション

参加者：丘珠空港周辺に住む51名
10/14：26名
10/15：25名



オープンハウス型意見交換会

期間：令和5年11月29日～12月17日

会場：■チ・カ・ホ

- イオンモール札幌苗穂
- イトーヨーカドー屯田店
- 篠路コミュニティセンター
- 伏古地区センター

内容：将来像実現に向けた取組の説明
パネルを設置し、意見交換を実施

参加者：合計752名（全会場合計）



➡ 空港を核としたまちづくりの目指す方向性や取組を「基本構想」として策定。

目指す姿

「空港が近くにあって良かった」と感じられるまち
(≒空港と周辺地域の共生)

取組の方向性

環境配慮の
徹底

安全運航の
確保

空港及び
周辺機能の
充実

取組の全体イメージ

空港ターミナルビルの機能拡充を中心に据え、空港の周囲に位置する丘珠空港緑地の活用、さらにその周囲における産業振興等に取り組みながら、空港及び周辺へのアクセスを改善していくことで、取組の効果を広く波及させていきます。環境配慮と安全確保は、全ての取組の大前提とします。

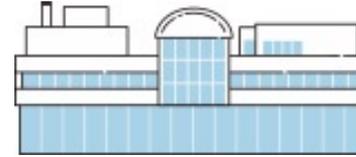
環境への配慮
安全運航の確保



空港周辺の産業振興・
機能集積



丘珠空港



空港ターミナルの
機能拡充



緑地機能の維持・向上

交通アクセス改善



取組1

環境への配慮

環境省が平成27年10月に発行した「航空機騒音測定・評価マニュアル」に基づいて
周辺の騒音調査を行っていきます。

騒音調査

10地点における調査の継続

位置を固定しない追加調査



情報発信

札幌市ホームページ

広報さっぽろ

丘珠空港ニュースの回覧



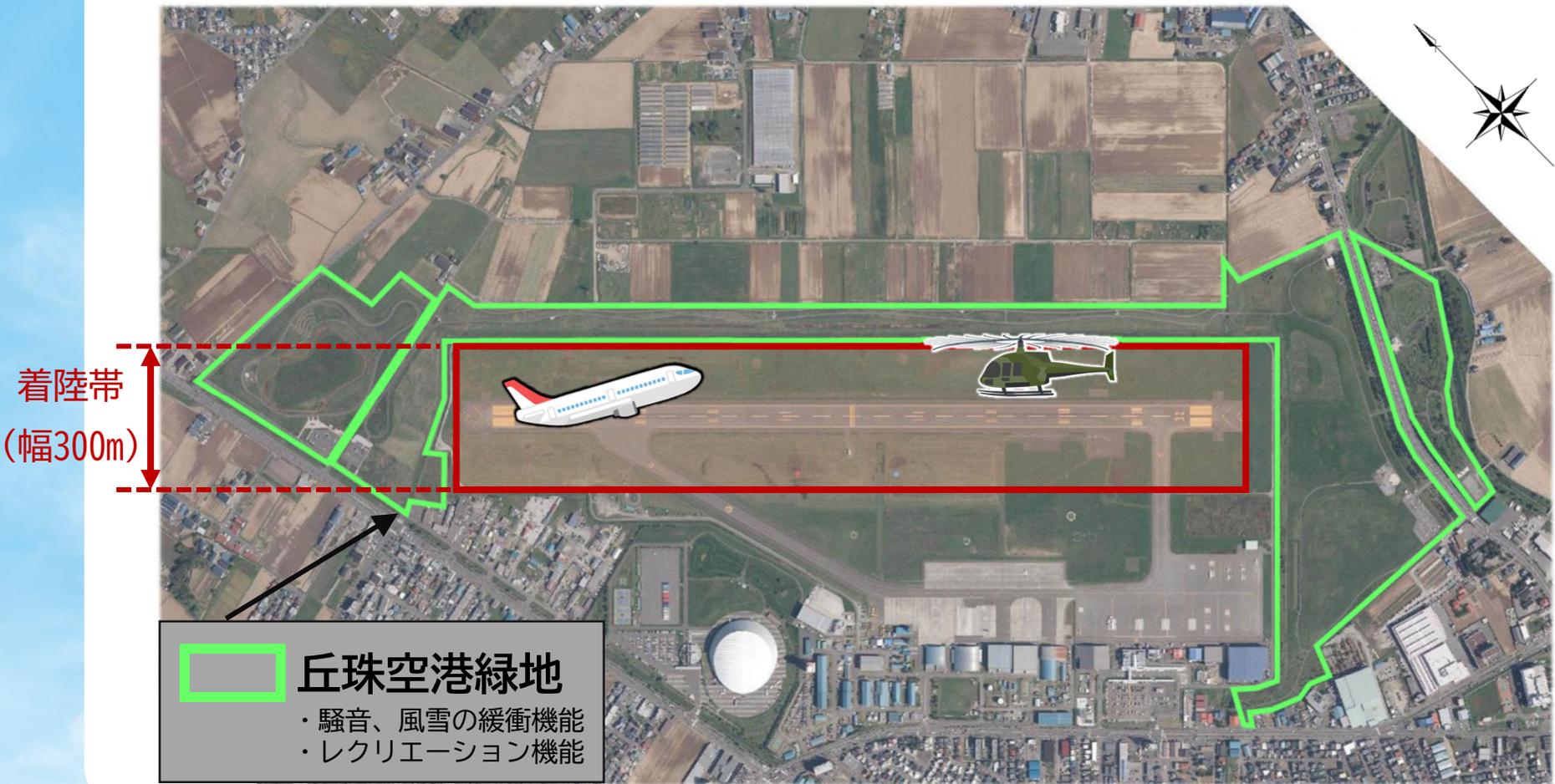
緩衝機能の確保

樹林帯や築山などによる
騒音や風雪の軽減



取組2 安全運航の確保

安全運航の確保に向けた空港用地の拡張



用地拡張による
自衛隊機の
待避地の確保

民間航空機の
運航と
自衛隊機の
訓練の両立

取組3

空港ターミナルビルの機能拡充

空港の基本機能拡充

搭乗受付や保安検査場

貨物への対応

ビジネスジェット専用施設



©中部国際空港(スマートレーン)

商業機能の拡充

飲食店や物販店の拡充など

航空機利用者以外の
利用も想定



©秋田空港ターミナルビル

災害対応機能の拡充

災害時の
支援物資等の充実



©aviationwire (成田空港防災訓練)

取組4

緑地機能の維持・向上

緑地機能の確保

樹林帯・散策路等を必要に応じて整備し
騒音や風雪の緩衝機能を維持



樹林帯



築山



遊具



遊歩道

緑地を活用した賑わいの創出

ワークショップでの意見も踏まえ
緑地の活用を検証



©札幌市 R4宮の沢地区空間活用実証実験

取組5

空港周辺の産業振興・機能集積

企業立地の促進

流通業務施設立地指定路線
制度の運用改善を検討



©Google (伏古・拓北通)

空港周辺における 産業・機能の集積

空港周辺の土地活用を検討



提供 国土地理院 (令和2年9月29日撮影)

空港を活用した 周辺地域の活性化

商店街、大学、周辺地域との
連携・協力や空港イベントや
商品開発を通じた周辺地域
の活性化



©札幌市 (ハッチふれあいフェスティバル)

取組6

交通アクセスの改善

公共交通によるアクセスの改善

東豊線栄町駅と丘珠空港間のアクセス

都心部・観光地等と丘珠空港間のアクセス



自家用車等によるアクセスの改善

空港近隣における駐車場の確保

立体化も含めた空港敷地内における
駐車場の確保



丘珠空港駐車場

意見の概要

	空港ビル関係	空港緑地関係	ビル・緑地以外
アンケート	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 飲食・物販店の拡充 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 商業機能の導入 ◎ 緑地の設備や機能の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 交通アクセスの改善 (駐車場、バス便の拡充等) ◎ 新規路線就航の要望 ◎ 空港整備への期待 ◎ 騒音に関する懸念
ワークショップ	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 基本機能の拡充 (展望機能、バリアフリー等) ◎ 付帯機能の充実 (飲食・物販、子供の遊び場等) 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 緑地の設備や機能の充実 (遊具、休憩場所等) ◎ イベントの実施 (キッチンカー等) 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 交通アクセスの改善 (駐車場、バス便の拡充等) ○ 周辺まちづくりへの期待 ○ 騒音・安全に関する懸念
オープンハウス	<ul style="list-style-type: none"> ○ ビルの機能拡充 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 面積減に関する懸念 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 交通アクセスの改善 (地下鉄延伸、バス便の拡充等) ◎ 路線就航の要望 (新規・既存) ◎ 空港整備への期待 ○ 騒音・安全等に関する懸念

◎は相対的に多かった意見